

同窓会報



鳥羽商船同窓会

三重県鳥羽市池上町1番1号

郵便番号 517

電話 代表 鳥羽 (0599) 25-3137

振替口座番号 名古屋 5-846

ごあいさつ

同窓会長 西島好夫

昨秋、母校創基百周年記念式典をはじめ、祝賀行事、記念事業が、すべて予想以上の成果を収め得ましたことは、何よりご同慶の至りでした。

偏に同窓会員各位のまごころこもるご協力のおかげと、謹んで厚く御禮申し上げます。

百年の昔、海運立国を目指して、母校を創立せられた校祖と仰ぐ近藤真琴先生に感謝の誠を捧げた世紀の祭典として、校歴の一頁を飾ることができました。

鳥羽商船養で始まり、町立、県立、国立と順調に平安な航海をつづけてきたようになりますが、県立時代、海運界不況の荒波に、まさに廃校の憂き目を見ようとしたことなど夢のような想い出もあります。今日輝しい校歴をふり返って、その当時、先輩各位をはじめ、関係者の格別のご深慮に敬意と謝意を表するものであります。

創基一〇一年の新しい歴史が始まるに際し、母校の名誉と誇りを一層高めるべく、先輩につづいて、これから海運界に貢献する決意を新たにいたしたいと存じます。

皆さんのご健勝とご活躍を心から祈りつつ、ご挨拶いたします。

六月六日に百周年記念資料館が開館されて以来三ヶ月経つても公式な行事は一切同館で行われていないというのもどうかという地元理事の声が高まつたので去る十月八日、同窓会事務所開きを兼ねて本部理事会が開催されました。

同窓会本部事務所は、三階の洋室で狭過ぎるという感じをうけますが、とりあえず、本部で預つております資料を移し、同所で事務がとれる体制作りを行いました。同窓生が来校された際には事務所の方で休んで頂くことが可能となりましたことを報告させていただきます。

本部理事会

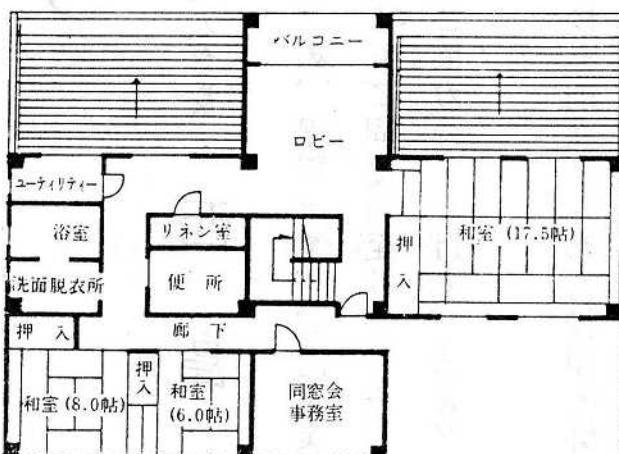
去る十月八日、本部事務所開き

に統いて、「全船協・商船高専教育振興対策委員会」の対応

二、今後の同窓会の運営について、二題について討議されました。前者については、その主体制が全船協にあり、五校の同窓会長が委員ということで議題として取り上げられたのですが、設立のための準備の段階での検討という



本部事務室での執務状況



六月六日に百周年記念資料館が開館されて以来三ヶ月経つても公式な行事は一切同館で行われていないというのもどうかという地元理事の声が高まつたので去る十月八日、同窓会事務所開きを兼ねて本部理事会が開催されました。

ことで、単なる報告の域を出ませんでした。

第二の議題としての同窓会の運営に関しては活発な意見が若い理事からも出されました。結局は成果を見るものはなく今後の検討課題という形になりました。

財源さえ充分あれば専属事務員を置くことが理想的な形といえます。が、年一五〇〇円の会費ではそれもまかなうこととはまず不可能であり、この点同窓会活動全般に亘つての見なおしが必要ということになりました。

そこで暫定措置として、職員会館に準ずる使用（一例として宿泊料金はシーツ、ユカタのクリーニング代金として三百円）で受け付けてはということになりました。申込先は

鳥羽商船高等専門学校庶務係にお願いいたします。電話での申込は

会員が二千五百名以上に及び、しかも船舶関係企業における移動が非常に激しいことから追跡調査等が十年前に比較して十倍以上になっているのと、転居しても連絡が取れないため二重、三重に手間がかかることなどがあげられます。

かねてから百周年記念会館の使用について会員から多くの問合せをいたしております。この件につきましては管理者である学校の他についてお願いしておりますが、現在までに出来上つておりますが、現在までに出来上つておりませんことを報告いたします。

緊急の際は電話でもよろしくお願いします。また落合・斎藤・中村等に連絡のついでお話していただいでもよろしいかと思いまして御了承下さい。そのほかは週末あるいは祝日での使用も一応受付ける予定です。

使用できる宿泊室は、和室（六畳・八畳・十畳の三室で、風呂、空調設備が用意されています）。使用につきましては申込順といたしますので御了承下さい。使用者の資格につきましては、一応会員となっていますが会員が一緒の場合は家族も含まれるものと考えられますが、これは使用規程が出来るまでの暫定とお考え下さい。

次に先きに各支部長を通じ、本号において創基百周年記念事業の決算報告についてお知らせするよう御連絡申し上げましたが、このほうもまだ未整理部分があり（十一月二十五日矢島百周年記念事業管理委員による）、次号（明年七月）に延期ということをお知らせすることで御了承願えれば存じます。

本部報告

記念資料館の宿泊について

同窓会総会について

さきの本部理事会において、例年母校で実施している本部総会を回り持ちで実施してはという意見があり今後支部との相談が承認されました。この問題は去る六月の本部総会前に開催された本部理事会においても採りあげられ、一部理事の承認は得られましたが、一部理事の反対もあり、今後の検討課題となつたものです。現在各支部で年一回程度開催されている支部総会と本部総会をドッキングし、隔年毎に本部と支部で本部総会を担当しようという考え方です。とりあえず京浜支部、名古屋一四四市支部、大阪一神戸支部が担当することとすれば、数年に一回は自分の居住地で総会に参加できる機会が生ずることになり、本来の同窓会の目的に沿うことになります。

今回の討議では来年の本部総会での承認を受けようという意見が大勢を占めましたが、現在京浜支部の理事からも申し出があるところから、昭和五十八年度の総会を例年より一ヶ月程度遅らして東京で開催（海事センターなど）で創立六十周年記念ということでお開催する（前野支部長はすでに承諾すみ）という案が立てられています。いずれ総会案内でお知らせしますが、今後の総会の開催につきましては以上のような案がある

ことをお含み下さい。なお総会案内等の発送については従来通り本部が中心となり、担当支部と充分協議して実行することになります。

また若い会員から、鳥羽で総会が開催される際には、前日に、青年、壯年、大先輩グループというように分けてのゴルフ大会を持つ（すでに実行しているクラスがある）など新しい企画が必要かと思われます。どうか会員の皆さんのが声を本部あるいは支部長あてに聞かせて下さい。



校祖近藤先生の伝記

直木賞を受賞され、最近では戦記作家として人気の高い豊田譲先生が、校祖近藤真琴先生の伝記を執筆されることになり、本校にも取材のため九月三十日に来校されました。

豊田先生は海軍兵学校（第六十期生）の元バイロットであり、海への理解が体験的で高いだけに格調高い伝記ができるものと期待されています。予定、本年中に脱稿し、新潮社から出版されることになつております。同窓生の皆様もぜひ御覧願いたいと思つております。

母校及び卒業生に関する資料収集

百周年記念資料館は完成したものの、整備はこれからです。写

眞の近藤先生が大きな目でさみし

が痛みます。卒業生の皆さん方

がお持ちの古い母校及び卒業生に

関する資料がありましたらぜひひお

がんじ下さい。コピイさせて頂くだ

けでも有難いと思っております。

同窓会顧問の竹内作夫会員（T7

N）から帆船実習証明書二通を拝

受けました。

当時の校長及びあまき船長印

のあるまことに貴重な資料で、今

後大切に保管いたしたいと考えて

故各務曰一會員（S11E）の戦死について

百周年記念資料館は完成したものの、整備はこれからです。写

眞の近藤先生が大きな目でさみし

が痛みます。卒業生の皆さん方

がお持ちの古い母校及び卒業生に

関する資料がありましたらぜひひお

がんじ下さい。コピイさせて頂くだ

けでも有難いと思っております。

母校の「百年史」の戦没者名簿

（七六二ページ）に、各務曰一會員については行方不明者とあげら

れていますが、時岡信一會員（S

12N）の御尽力により、松岡秀次会

員（S11N）の御協力により、昭

和二十年四月六日、アモイ南方洋

上において米機B25二十機による

攻撃を受け沈没乗員全員が戦死さ

れた。海防艦一号に乗艦されて

たことが確認されました。

「海防艦戦記」という本の中に

その記事がくわしくのつており、時岡会員がわざわざ本部までコピイして送つていただきました。各務会員の御冥福をお祈りすると同時に時岡会員に厚く御礼申し上げます。

右證認ス

帆船あまき船長秋山秋次郎



大正八年七月十日

三重縣立鳥羽商船學校長北村鐸三郎

竹内会員の実習證明書

老船員航海記録

自大正七年四月 至昭和四十五年十二月
(上山貞男記)老船員航海記録 自大正七年四月至昭和四十五年十二月
(上山貞男記)

航 道 名 字	航 船 名 字	船 體 寸 法	船 型	噸 位 Ton Dis.	航 走 日 時 間 Hrs	航 走 距 離 Kms	航 走 平 均 速 度 Kms	大 洋 横 航 西 半 球 太平 洋 大 西 洋	航 道 通 過 數	航 程 長 度 Kms	系 統 航	REMARKS	船 主 名
1 実 大正丸	- 三島型	2000t	50 ^b	60-09-16	13,935	9.16	-	-	-	-	-	S	銀洋尾島
2 実 大加島丸	-	60t	60 ^b	110-03-30	28,700	9.72	2	-	-	-	-	S	銀洋尾島
3 - KPM受取	-	40t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	S	新潟尾島
4 - 防波丸	-	40t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	S	新潟尾島
5 実 盆瀬丸	DIESEL 100t STEAM 100t	100t	60 ^b	386-5-20	30,885	10.30	-	2	-	-	-	S	盆瀬丸
6 新 テキヤ丸	100t 100t	100t	60 ^b	469-7-13	9,040	9.18	4	9	2	-	-	S	相生丸
7 実 江戸丸	100t 100t	100t	60 ^b	2/1-18-57	43,062	8.38	1	4	1	-	-	S	江戸丸
8 広 英蘭丸	100t 100t	100t	60 ^b	57-3-28	12,111	8.9	+	-	-	-	-	S	英蘭丸
9 鳥 鷺丸	100t 100t	100t	60 ^b	3/19-57	18,356	8.01	-	-	-	-	-	S	鷺丸
10 化 桜丸	100t 100t	100t	60 ^b	251-6-70	95,272	12.44	2	-8	2	-	-	D	桜丸
11 実 朝潮丸	E島型	60t	60 ^b	56-10-30	9,200	11.18	2	-	-	-	-	S	朝潮丸
12 左 くわだい丸	100t 100t	100t	60 ^b	15-0-35	26,719	9.41	2	-	-	-	-	S	くわだい丸
13 実 すね丸	-	60t	60 ^b	74-16-80	9,850	13.28	2	-	-	-	-	D	すね丸
14 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	N.Y.K
15 実 銀葉丸	100t 100t	100t	60 ^b	679-5	20,949	11.5	14	-	14	-	-	S	銀葉丸
16 実 霞島丸	100t 100t	100t	60 ^b	75-2-24	32,325	16.67	6	-	6	-	-	D	霞島丸
17 - 萩島丸	100t 100t	100t	60 ^b	688-5	379-0-3-37	10,765	15.90	2	-	2	6	○	萩島丸
18 実 全国丸	100t 100t	100t	60 ^b	10-0-83	10,696	12.67	10	-	8	-	-	D	全国丸
19 鳥 ひが丸	100t 100t	100t	60 ^b	370-02-00	13,316	19.56	10	-	-	-	-	D	ひが丸
20 " 霞島丸	E島型	60t	60 ^b	75-10-10	20,815	15.40	6	-	6	-	-	D	霞島丸
21 大 L.S. D.E.	-	100t 100t	60 ^b	15-09-10	10,862	9.2	-	-	-	-	-	D	L.S.D.E.
22 "	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	N.Y.N.Y.
23 実 球運丸	-	100t 100t	60 ^b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	球運丸
24 実 開拓丸	100t 100t	100t	60 ^b	38-07-52	7,453.6	8.11	-	-	-	-	-	D	開拓丸
25 - 大正丸	100t 100t	100t	60 ^b	57-2-26	8,369	6.02	-	-	-	-	-	D	大正丸
26 鳥 男鹿丸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	S	男鹿丸
27 実 萩運丸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D	萩運丸
28 実 高流丸	100t 100t	100t	60 ^b	761-6-31	8,949	16.05	16	-	-	-	-	D	高流丸
29 実 高長丸	100t 100t	100t	60 ^b	53-1-10	18,640	14.18	4	-	-	-	-	D	高長丸
30 実 高幸丸	100t 100t	100t	60 ^b	728-5	15-6-66	5,468	16.67	4	-	-	-	D	高幸丸
31 " 高典丸	100t 100t	100t	60 ^b	198-2-31	60,387	14.72	9	4	-	-	-	D	高典丸
32 大 高浩丸	100t 100t	100t	60 ^b	19-9-30	29,008	16.25	6	6	-	-	-	D	高浩丸
33 実 東洋丸	100t 100t	100t	60 ^b	4-3	23,189	10.21	-	-	-	-	-	D	東洋丸
34 実 Barkay	100t 100t	100t	60 ^b	6-31-5	67,033	19.10	-	-	-	-	-	D	Barkay
35 実 AEGAN NANKAI	237.38t 237.38t	8	60 ^b	120-10-80	4,7551	16.38	2	-	-	-	-	D	AEGAN NANKAI
36 " PARSO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D	PARSO
37 実 GYLYNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D	GYLYNE
38 実 呂々丸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D	呂々丸
39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計				54,930,663	1,963,882	10,919	101	35	50	14			

備考 HANK D-11主機の機種 DIESEL 627. 上表記入。船名は筆者記入。海上尾瀬中深水船と記載。HANK D-11は HANK D-10の改良版。SIX STEAM Reciprocating Engine 627t 計26隻と違う力不足のため9隻以上何れかを主義富(1910)長崎度。航運所に建造。HANK D-10は、HANK D-11と全く同じ機種で、HANK D-11は其後建造。HANK D-11はHANK D-10の改良版。HANK D-11はHANK D-10の改良版。HANK D-11はHANK D-10の改良版。HANK D-11はHANK D-10の改良版。

航空機のパイロットの場合よく操縦時間が二万時間を超えたなどと新聞に載る場合がありますが、

船員の場合生涯航海記録というものが新聞記事になることはほとんどないといつても過言ではありません。お知らせいたします。

太平洋横断回数一〇一回、大西洋横断回数三十五回、バ拿馬運河回数五十四回、スエズ運河回数四十回といふまさに天文学的数字

乗船隻数が三十八隻、航走日時数が五四七三日六時間三分で、平均航海速度は一〇・九一七ノット、横断回数三十五、バ拿馬運河回数四十、スエズ運河回数二十四、太平洋横断回数三十五、バ拿馬運河回数二十、回数五十四回といふまさに天文学的数字

造船所名等が詳細に記録されたり、ただただ驚きの連続です。会員の皆さんのがそれぞれの生涯航海記録をつけて引退後母校の記念館に飾るというのも本校の特色を示すうえで非常に意義あるものと思われます。ぜひ協力して下さい。

函
館

支
部
報
告

だち。

七、春井岩男（S 25 E） サラブ

レッドの多い「日高丸」に乗船中。山歩きがうまい。

八、大島幸夫（S 28 N） 海に山に忙しい船長。摩周丸に乗っている。

九、川口 渉（S 33 E） 改造客船船檜山丸に乗船中。邸宅の写真が（何年か前）チラシに載つた機関長。男の子3人。

一〇、大西 裕（S 43 N） 35才のマラソンマンとして、好成績を上げている。青森県「八甲田丸」に乗船中。男の子の女の子をじょうずに生み分けている一帆士。

一一、立本 健（S 43 N） 「清く正しく美しく生活している（本人談」と伝えてくれのこと、実態は：保証します。男の子3人のお父さん。一帆士。

一二、水野正治（S 43 N） 百年祭には母校へ家族と共に行き、落合工学博士から子供にワッペンを2枚もつけてもらつて、親友を凝っていた。十和田丸一航士。

一三、小出隆一（S 47 E） 今年5月結婚して来年3月第一子誕生予定。ヨット、スキーカー、マイコンに凝っている。十和田丸一機長。

一四、佐藤茂樹（S 22 E） スタビライザーのついた十和田丸機関長。この前のシケでも、走つて行きました。

一五、新家昭一（S 25 N） 霧の「摩周丸」船長。透明度二〇〇%！

一六、佐々木時藏（S 25 E） 改造客貨船石狩丸の機関長。スタビライザーと燃料消費量は、お友

も高い。男の子2人。石狩丸二機士。

一五、奥田宣夫（S 48 E） カツバとなつてある。どういうわけか、女の子二人もいる。マイコンの月賦を楽しんで払つてある。

一六、福原忍（S 50 E） 彼の年賀状には定評がある。4WDのドライバーである摩周丸二機士。

一七、吉田 均（S 50 N） 去年函館の美人と結婚。市内某アパートメントにいる。二帆士。

一八、浅沼茂樹（S 51 E） 今年三月に結婚。奥さんと二人でクリザーの製作中。進水式は来年の予定。十和田丸三機士。

一九、酒井幸徳（S 51 E） 今年九月結婚。青函局柔道部にて活躍中。北海富士「羊海丸」三機士。

二〇、皆川藤夫（S 51 E） 大いに青春を謳歌している貴族。八甲田丸三機士。はげましのT E S. は〇一三八・四二一・四四五五へ。

二一、井口 淳（S 52 E） 踏まれても、ヤジられてもしぶとく起きる人物。マイコン講習会では、エラーにもめげず、シコシコとキーをたたいていた姿が印象的。

二二、佐々木正（S 54 E） 邂逅とは、彼の為にある言葉のようだ。

二三、佐々木正（S 54 E） 邂逅とは、彼の為にある言葉のようだ。

二四、岩沢隆志（S 54 E） 来年二月結婚予定。函館の女性と。あんな石狩丸三機士。

二五、栗田英夫（S 54 E） 去年、若くして結婚した。函館は住み良いとか言つてゐる。おしゃれな石狩丸三機士。

二六、岩沢隆志（S 54 E） 来年二月結婚予定。函館の女性と。あんな石狩丸三機士。

二七、岩沢隆志（S 54 E） 来年二月結婚予定。函館の女性と。あんな石狩丸三機士。

二八、岩沢隆志（S 54 E） 来年二月結婚予定。函館の女性と。あんな石狩丸三機士。

二九、岩沢隆志（S 54 E） 来年二月結婚予定。函館の女性と。あんな石狩丸三機士。

三〇、南 友郎（S 55 H） 当支部のフレッシュマン。〇〇貴族の第一人者であろう。石狩丸三帆士。

三一、南 友郎（S 55 H） 当支部のフレッシュマン。〇〇貴族の第一人者であろう。石狩丸三帆士。

三二、南 友郎（S 55 H） 当支部のフレッシュマン。〇〇貴族の第一人者であろう。石狩丸三帆士。

三三、南 友郎（S 55 H） 当支部のフレッシュマン。〇〇貴族の第一人者であろう。石狩丸三帆士。

三四、南 友郎（S 55 H） 当支部のフレッシュマン。〇〇貴族の第一人者であろう。石狩丸三帆士。

三四、寺崎義芳（S 52 E） 今年九月小学校の先生と結婚。彼の奥さんは、苦古校に住んでいた。

三四、寺崎義芳（S 52 E） 今年九月小学校の先生と結婚。彼の奥さんは、苦古校に住んでいた。

三四、寺崎義芳（S 52 E） 今年九月小学校の先生と結婚。彼の奥さんは、苦古校に住んでいた。

三四、寺崎義芳（S 52 E） 今年九月小学校の先生と結婚。彼の奥さんは、苦古校に住んでいた。

三四、熊谷一幸（S 53 H） スキーにとりつかれ早や四年。鳥羽丁出身の雪男。松前丸二帆士。

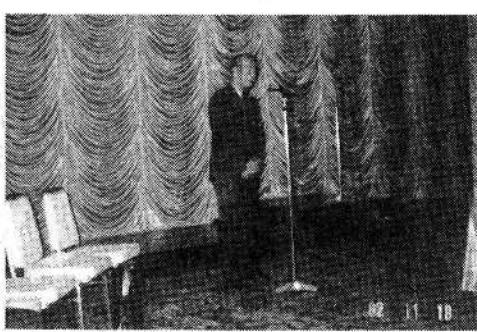
三四、田村 宏（S 53 H） 真新しいセントラルヒーティング「寮」に住んでいる。居ごこちがよくて、今年も冬をむかえる。空知丸二帆士。

三四、栗田英夫（S 54 E） 去る十一月十八日十八時より、函館にて、仕事はもちろんのこと、大門にも顔が売れているそうである。羊蹄丸三帆士。

三四、栗田英夫（S 54 E） 去年、若くして結婚した。函館は住み良いとか言つてゐる。おしゃれな石狩丸三帆士。

では、同窓会員の皆様のご健康をお祈りしまして、乱文乱筆ながらこの辺でペンを置きます。
(奥田宣夫記)

京
浜



小島新支部長挨拶

では、同窓会員の皆様のご健康をお祈りしまして、乱文乱筆ながらこの辺でペンを置きます。
(奥田宣夫記)

の報告があり、前支部長江崎広治氏（病気入院中のため御子息が代理出席）に対し記念品が贈呈されました。次いで支部総会の左記の報告事項があり、一同久し振りの懇親会に話がはずみました。
(1) 同窓会京浜支部役員について
去る六月六日母校で開催された総会で左記通り決りました。



懇親会場風景

副会長—小島明正 (S 8N・支
部長兼務)、浦田楠雄 (S 9N
新) 理事—浅野和昭 (S 19N
35N・新)、築田秀平 (S 36N
新)、小野斗章 (S 37E・新)
本年をもつて、江崎支部長、小
山、岩田、辻の三理事は退任さ
れました。長い間、本会のために
ご尽力頂きご苦労様でした。尚、
前記八名の外に本年七月に押尾定
夫副会長 (S 15N) が神戸から相
模原市に転居されて参りましたの
で京浜支部の役員は九名になりました。

出席者
中川良夫、西島好夫、坂口才五郎
監事—小山逸男 (S 25N)
和田春生、押尾定夫、佐藤静雄、
小林義夫、青木佐加男、浅野和昭
倉橋善正、浦田楠雄、吉原保行、
三ツ石昭夫、落合弘明、林幹夫
李家正晃、深町久、浜口猛、
小山逸男、永田尚司、千々波天信
長沢秀樹、岩田和雄、漆山順三、
野呂卓司、野田芳樹、林郁男、
藤井国夫、山口義治、青木孝之、
岡田和泰、田中靖信、山本保夫、
辻裕、渡辺上、正元弘三、菱
田司、築田秀平、武部二三男、
田仲徹生、上総正博、友田勉、
横山良一、浜谷司、梅島正、
田中誠、尾鷲綱三、佐野房雄、
宗田寛、二村直久、岩本有生、
田中忠志、杉山金吾、古屋勤、
(2) 物故会員について（連絡を受
けた方のみ）
また、今後同窓会京浜支部の事
務局は岡田商船株 (T 100-3-125
八一四七一) 担当者野田に変り
ましたのでご了承下さい。

この一年間にご逝去された方は
佐藤信次氏 (T 4N) 及び嶽尾敬
弘氏 (S 8N) のご両名です。謹
んでご冥福をお祈り致します。

副会長—小島明正 (S 8N・支
部長兼務)、浦田楠雄 (S 9N
新) 理事—浅野和昭 (S 19N
35N・新)、菱田司 (S
新)、小野斗章 (S 37E・新)

(3) 全日本船舶職員協会関係
本年五月の総会で役員の改選が
あり鳥商船同窓関係では下記の
方が選出されています。

会長—和田春生 (S 11N)

副会長専務理事—小島明正
(S 8N)

常務理事—佐藤静雄 (S 16N)

理事—浅野和昭 (S 19N)
長谷川好道 (S 21N) (神
戸地区)

季家正晃 (S 23N)

野田芳樹 (S 29N)

監事—小山逸男 (S 25N)

百周年記念事業の募金運動、其の
他は、皆様の協力に依り順調に進
み、五十六年十一月一日には、お
ごそかな式典を施行、五十七年六
月七日記念資料館の竣工式で目標
が完遂されたことを、あらためて
お慶び申し上げます。ふり返りま
すと、募金の運動には目標額達成
で各支部に負けないよう、常に
留意し、その運動を推進し、督促
状の発送）最後のお礼状も三百名
の会員65%）に発送しました。

事業を成功させるまではと、特
にこの運動に協力を戴いた前支部
長関口展生氏 (S 7N) 岐阜地区
の大先輩後藤留吉氏 (T 14E) の
熱心な働きかけにより五十六年五
月十日岐阜地区で初めて同窓会を
開催しました。

岐阜のメガネ屋、山本太郎氏 (一
61期航)、名古屋港管理組合勤務
鳥居武雄 (S 22N) 河村和美氏 (一
S 23E) 諸氏には謹んで感謝申し
上げます。 (S 16N 山崎修記)

五十七年四月十四日、支部理事
会（名鳥会役員会）で提案された
今後の運動方針について、更に、
五月八日支部総会を開催しました
新支部長、市江義治氏 (S 10N
52期) を中心に役員と会員共に本
部の強い要望である同窓会活動を
強化するため、名鳥会の規約の
一部を下記の通り改訂して、同窓
会の親睦を第一として活動したい

名古屋

と思います。

記

(1) 三重、静岡の地区の一部を含
めること

(2) 理事の増員（五名以内→十名
以内）、幹事（三十名以内）の
新設とその選出方法。

(3) 卒業年次、平素の協力度など
を考慮した役員推せんの二十五名
の幹事候補を決める。

(4) 本部理事候補と名鳥会理事
について、それぞれ承認を得ま
した。

又、関口前会長を名鳥会顧問と
して推戴すると共に本部顧問とし
て推せんすることになりました。

入会は、五十六年卒の地元出身
者航機計七名、五十七年卒は九名
で、62期航の森田武雄・浩敏氏の
親子会員が誕生しました。

百周年記念事業という大目標が
なくなつたとは言え、今後の船員
教育の在り方、海運界の行手には
かなりの変革も予想され、幾多の
問題も生じると考えられますので

先の大事業で培つた情熱と結束を

続けてゆくために、ともすれば、
疎遠になりがちな同窓会活動を活
発にするため、より集まり易く、
親しみ易く、語り易くするため、
えと行動をお借りして、新鮮さを

その内容に新しい人、若い人の考
えと行動をお借りして、新鮮さを

吹きこみ乍ら世代の交代、若返り
を実現してゆきたいと考えており
ます。 (S 19N 山本太郎理事記)

10N

理事 梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

船橋 晴雄 (S 39N)

山本 太郎 (S 19N)

羽根田 勉 (S 21N)

山崎 修 (S 16N)

梅山三郎 (S 13N)

名鳥会役員名簿

会長 市江義治 (S 10N)

副会長 梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

山本 太郎 (S 19N)

羽根田 勉 (S 21N)

山崎 修 (S 16N)

梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

過日ご報告申し上げましたが、氏
は会の発展と百周年記念事業の推
進と幾多の後輩の面倒を見ていた
だき、又、海洋少年団役員等では
海事思想の普及をされた功績は大
きく、ここに感謝の意を表します。

会員の親睦を目的として気軽に立
寄れる店は、名鉄電車金山駅正面
にある喫茶アサヒ（電話〇五二一
八八一九七六〇）S 19-12E (63期)
垣内 進氏が経営されています。

次回の支部総会は二月十九日(日)
に実施が決定していますが場所は
未定です。

同窓の皆さんご来名の折には是
非御立寄り下さいますようお願い
致します。

同窓の皆さんご来名の折には是
非御立寄り下さいますようお願い
致します。

尚、ノートを備えてあります故
近況を記載して下さい。

(S 16N 山崎 修理事記)

名古屋支部として本部理事氏名
支部長 常任理事 市江義治 (S

10N)

理事 梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

船橋 晴雄 (S 39N)

山本 太郎 (S 19N)

羽根田 勉 (S 21N)

山崎 修 (S 16N)

梅山三郎 (S 13N)

名鳥会役員名簿

会長 市江義治 (S 10N)

副会長 梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

山本 太郎 (S 19N)

羽根田 勉 (S 21N)

山崎 修 (S 16N)

梅山三郎 (S 13N)

山崎 修 (S 16N)

大沢則義 (S 32 N)
船橋雄雄 (S 39 N)
菅沼延之 (S 48 N)
名鳥会幹事名簿
森田武雄 S 22 N — 鳥居武雄
廣己 S 1 — 28 E — 中村研一 S 30
E — 春口正一 S 35 E — 服部一孝
S 41 Z — 松山泰雄 S 42 N — 平生
吉久 S 43 N — 小林正司 S 44 N
— 河本友美 S 47 E — 高井巧
S 48 N — 宗接万太郎 S 50 N — 長
谷川 洋 S 51 N — 柄木田 宏
S 51 N — 河合信吾 S 51 E — 岩谷
省吾 S 52 N — 浅井英輔 S 52 E
— 杉本和重 S 52 E — 山下芳弘
S 53 N — 向井英仁 S 54 N — 稲垣
博

四日市

S 14 N — 伊藤茂雄 S 17 N — 岸聚
S 19 N — 西川義徳 S 19 — 12 N —
S 23 E — 河村和美 S 27 N — 柳田
S 23 E — 河村和美 S 27 N — 柳田
E — 春口正一 S 35 E — 服部一孝
S 41 Z — 松山泰雄 S 42 N — 平生
吉久 S 43 N — 小林正司 S 44 N
— 河本友美 S 47 E — 高井巧
S 48 N — 宗接万太郎 S 50 N — 長
谷川 洋 S 51 N — 柄木田 宏
S 51 N — 河合信吾 S 51 E — 岩谷
省吾 S 52 N — 浅井英輔 S 52 E
— 杉本和重 S 52 E — 山下芳弘
S 53 N — 向井英仁 S 54 N — 稲垣
博

総会は、旧支部長の挨拶・報告
新支部長及び役員の紹介のあと、
斎藤先生から本部からの連絡事項
等ご説明があり、さらに会計・会
務報告に引き続き懇親会に移り十
六時三十分頃名残を惜しみ再会を
約しながら解散しました。

(中西記)

（出席者）
水谷 学・末崎 弘・富岡 久・
加藤 昇・中野清文・沖田 檜・
水越勇生・中西新治・牧 孝明・
石垣三郎・中沢昌信・山村由則・
伊藤邦生・松永三良・平井 勇・
広岡隆一・安田大津造・今高光雄
山本 勇・北岡万二・高梨素直・
上村賢治・高野富美男・橋川八郎
浅沼正男・小川雅弘

大 阪

本年三月二十六日、大阪地区總
会において、出席者の総意に依り
“市内において気軽に立寄る事が
出来る様な場所を探そう”と申合せ
た結果、早速岡田紀代藏さんから
（S 29 E）割烹“びおら”的招
宴を頂きました。

提協議のうえ、末崎理事にお願い
することとなり併せて役員の改選
をおいてもそのとおり承認されま
した。

地下鉄のターミナルに当る大阪市
の玄関口、大阪梅田地下街にあり
交通の便もよく、非常に解り易い
場所であります。（同窓会名簿P
158ご参照願います）店のカウンタ
ーに“大阪錦浦会”と記したノー
トを掲げ、会員の連絡用に供して
おります。

去る四日夕には、小原博さん、
中西勧さん（共にS 18 N）、古妻
秀夫さん（S 21 N）、岡田紀代藏
さん（S 29 E）、それに此の四月
から泉和海運大阪支店長としてご
着任の山本醇平さん（S 19 N）と
小生六名が会合して一夜の歓談の
場を持ち、百周年記念事業の話か
ら始り、近況まで、同窓生の消息
やら、学校時代の想い出、今後の
在り方等々、時間の経つのを忘れ
ました。

昭和五十七年十月二十三日十三
時から四日市農協会館において
本部から斎藤先生をお招きして、
第二十一回四日市支部総会を開き
ました。

従来のお座敷方式からテーブル
式に変えて今回で三度目、中には
お座敷でゆつくりと飲んで親密に
歓談したいというご意見も少なく
ありませんが、今のところ出席す
る軽便さが受けてすっかり定着し
た感があります。

総会に先立つ理事会の席上で今
高支部長が健康上の理由で支部長
の留任を強く辞退されたため、急

設定を実施して頂き、どこへ行つ
ても同窓生の近況が手近に解り、
且会員相互の横の連絡が簡単に出
来るようご配慮願えれば非常に有
難いと考えております。

（大阪地区錦浦会 事務局 長谷
川俊治理事記）

神 戸

瀬戸内に冬近しを告げるカモメ
の大群が、遠い昔の国から今年も
神戸の埋め立て地に飛来、埋め立
てに使う土砂と中央部に取り残さ
れた静かな水面が鳥たちに自然を
感じさせるのか、広大な人工の干
潟に小型のユリカモメ、背中が黒
っぽい大型のセグロカモメなど數
千羽が羽を休めはじめました。

全国の会員の皆様お変わりありま
せんか、神戸支部会員一同元氣に
活躍しております。

本日は、私達の港町にまたワッ
と生れた新しい魅力をお知らせし
ます。海を通して世界にひらけ、
では会員の皆様、来年も何卒良
い御年であります様心から御祈り
しております。

スタンド 櫻

（吉川清子）
神戸市中央区中山手通一丁目五
の二〇丑〇七八一三三一四六一
二

“びおら”的お好みさんの話に
よると、入つて来るお客様が大
阪錦浦会（鳥羽商船）のノートを
見て、“鳥羽商船は立派な学校で
優秀な人材を多数送り出している
有名な学校ですよ、お店とどんな
関係があるんですか”と声を掛け
られ、今更乍ら、ご利用頂いた事
に感謝しておりますとの事でした。
同窓生の皆さん、ご来阪の節、ま
た列車待ちの時間等をご利用され
まして、近況、消息等をお記し下
さい。各地区にもこの様な場所の
本年は残念なことではあります
い。

伊勢志摩

（前野支部長記）

的屋カキのおいしいシーズンと
なりました。当支部でも懇親の場
をもつべく計画していましたが、
西川支部長が入院された関係があ
り、忘年会に替えて新年会を一月
下旬頃に開こうと考えています。
須永理事の本社二階に大会議場が
あり、いつでも使用して下さいと
西川支部長が入院された関係があ
り、忘年会に替えて新年会を一月
下旬頃に開こうと考えています。
須永理事の本社二階に大会議場が
あり、いつでも使用して下さいと
いう有難き申し出を受けておりま
す。

（落合記）



クラス会

『さむらい会』

昭和十一年卒の同窓生で組織する「さむらい会」は、去る十月七日和歌山市県庁前の紀の国会館(全共済施設)で開催された。当日の天気予報は全国的にあまり芳しい方ではなかつたが、和歌山地方は幸いにも、晴天に恵まれ、絶好の秋日和が遠来の客を迎えてくれた。出席者は次の通りで、計十四名。

岡島 覚	松岡秀次
橋本 忠	神谷義康
浅沼 実	森田 煉
島岡博之	坂田 薫
河村定雄	久保士朗平
鈴木次郎	大沢松一
鈴木 捷	早津辰海

昨年の鳥羽商船創基百周年祝賀式典に参り以来一年ぶりの再会であるが、お互の風貌には既に六十余年を生き抜いて来た人生の年輪が刻まれていて、老壯の貴禄と頬もしさが伺われた。

夕方六時に開会したが、語る話は、いつものことながら、鳥羽商船四ヶ年の思い出が中心となる。

入学当初の話、今は亡き恩師の話、戦争や事故、病氣で若き命を絶つた学友への追憶、或はお互いの生活を語り、世相を論じ、酒杯を重ね相交わし、延々三時間の経過に



昨年の例会は母校の創基百周年の記念行事に合せ鳥羽で開催したため参加三十名を超える大変な盛会であつたのでその反動で今年は低調かと幹事は危惧しておりましたが、病気全快の中村君、久し振りに顔を見せた伊藤君など珍しい顔振れもあつて二十名、それに特別参加の東爪君(十九・十二E)、別参加の東爪君(十九・十二E)、飯山(二七E)、浜口(四三E)の両君が受付や案内係を引受けて與れるなど例年通りの盛会となりました。

翌日は、和歌山城に至り、公園散策、天主閣登城、和歌山駅で昼食後解散した。なお、有志六名(神谷・久保・早津・森田・島岡・大沢)の一行は、高野山諸寺参拝の一泊旅行に出かけた。

『S一一六会』

今年から八年前の昭和四十九年秋卒業三十年を機会に最初の会合をもつた昭和十八年修了生(第六〇期生)のクラス会ー称して鳥羽商船一八会ーの第九回例会を眼前に展開される明石海峡の眺望と、旧有檜川宮邸の名庭園で知られる「舞子ビラ」で十月十六日開催しました。

昨年の例会は母校の創基百周年の記念行事に合せ鳥羽で開催したため参加三十名を超える大変な盛会であつたのでその反動で今年は低調かと幹事は危惧しておりましたが、病気全快の中村君、久し振りに顔を見せた伊藤君など珍しい顔振れもあつて二十名、それに特別参加の東爪君(十九・十二E)、別参加の東爪君(十九・十二E)、飯山(二七E)、浜口(四三E)の両君が受付や案内係を引受けて與れるなど例年通りの盛会となりました。

鳥羽をいでて30年、母校でうけた薰陶と友情に支えられて、それのコースに挑戦しつつ、いつしか五十路にさしかかって一沫の感慨を覚える頃合ともなつてまいりました。職業柄なかなか逢いまみえる機会の少ない私ども昭26卒航機35名と計つて10月16日(土)快晴の名古屋城跡にある共済会館で会合をもちました。

昭和23年春、敗戦後の荒廃した世相と、逼迫した食糧不足の中で入学した紅顔可憐の美少年達も、今は自信と落ち着きを兼ね備えた

『鳥羽商船一八会』

した。

ロビイで一刻の歓談のあと、一風呂浴びて懇親会場へ。会は開催地の幹事代書の歓迎の挨拶のあと、

港KOBEの美人も加つて、久闊

を除す声高な話し声と、母校の愛

唱歌、カラオケ自慢が入り交り、

アツと言う間に予定の三時間が経過しました。

海に勤務の現役組も今年から明和にかけて大半が定年退職を迎えことになり又既に陸上勤務の者は再就職で第二の人生を迎えておられます。従つて今年の話題は専ら健康とこれから的人生の生き方にあつたようです。

思えばこの会が発足して今日までの九年間は、最も充実した壮年

(N科) 岸・小林・坂下・高安・

中村(浅)・中西・苗村・前野

(E科) 伊藤・北岡・高梨・田口

・土屋・中村・前田・松尾・

山本

出席者

東爪・飯山・浜口・高安・

前野・前田各夫人 以上

地区幹事の担当です。会も数えて十年目を迎えます。

元気な顔で又会いましょう。

(前野記)



熟年となり一見近寄り難い貴様と
風格がありますが、寄り集まつて
語り合えば、もう一気に30年のタ
イムトンネルをくぐり戻つて、学
校時代の想い出話に時の過ぎるの
も忘れてしまひます。

その話題のビッグ五は、まず、
恥かしいながら食物の話。あの当
時主食とも云えるサツマイモに始
まつて海水汁、炒つたイナゴそし
ておしまいは決つて七越食堂の素
うどんに至ります。これと関連連
して、七越の女店員だったスチ
ヤン、ハーチヤンに、自分達が食
べたウドンのツケを勘弁してもら
つて嬉しかった話、引き続き当時
のガールフレンドが次々に登場し
てまいります。

色々なエピソードが披露される
と想い出されるのは今は亡き級友
の面影、今迄呵々大笑していた雰
囲気は急にシユンとなつてしまいま
す。酒好きだった故人を偲び冥
福を祈つて乾盃?。すると四番目
には、お世話になつた教官方の話
となり、五番目には現在に戻つて
カミサンのこきおろしと子供の自
慢話――ざつとこんなものです。

勉強のため、はるばる鳥羽へ来て
いたのに、その話が出ないのは何
たる罰当たりなことでしようか!。
でも多分先輩後輩諸兄も、話の順
位が入れ替つても、だいたい同じ
ようなものだと推察いたします。

俗に「同じ釜のメシを食つた仲
」とか、恰好よく「同期の桜」
とか云いますが、やはり全寮制で
何もかも知り盡くしている友は有
難いものです。その有難味が、年

風格がありますが、寄り集まつて
語り合えば、もう一気に30年のタ
イムトンネルをくぐり戻つて、学
校時代の想い出話に時の過ぎるの
も忘れてしまひます。

その話題のビッグ五は、まず、
恥かしいながら食物の話。あの当
時主食とも云えるサツマイモに始
まつて海水汁、炒つたイナゴそし
ておしまいは決つて七越食堂の素
うどんに至ります。これと関連連
して、七越の女店員だったスチ
ヤン、ハーチヤンに、自分達が食
べたウドンのツケを勘弁してもら
つて嬉しかった話、引き続き当時
のガールフレンドが次々に登場し
てまいります。

毎年開催される二十七年本科卒
にあたるクラス会は、本年度京浜
在住者担当、三鈴マシナリー(株)東
京支社機械部長木下君が幹事とし
て十月二十四日浜松市遠鉄ホテル
館山寺で行はれました。

当日は晴天に恵まれ十六時集合
にかかわらず、十三時過ぎには田
中健介君、斎藤の鳥羽勢が到着、
十五時宇田川友也、田中広行君と
三三五五、定刻にはオールスター
キャスト集合いたしました。

本会の特徴は一応本科卒二十七
年組となっていますが、昭和二十
四年当時同クラスで有つた者全員
の集まりになつておりますので、
終戦まだ落着かない状態のころ、
と続きますが全て無、仲居のオネ
エさんがあきれてこの集合体は何
ですかと聞かれる状態、クラスメ
イト諸君、想像つくと思います。

十八時宴会開始、普通の会合で
は幹事役の挨拶に始まり一席ぶつ
と並んで座ります。その後、オネ
エさんがあきれてこの集合体は何
ですかと聞かれる状態、クラスメ
イト諸君、想像つくと思います。

遠洋航路の船長は無冠の外交官
であり語学力は最も大切です。
基礎学力の程度に於て船長の值打
は決るものであると諸先輩より確
かに努力したものです。

私は昭和五年の春に日米間の定
船貨物船の船長に就任しました。
昭和十四年の春、瀬戸内海水先人
組合より貴君は遞信省規定の体格
検査さえ受けて貰えれば学科試験は
数年間の皆出席は宇田川、木下、
千々波、森尾・林君には既に孫が
を重ねるごとに強く感じられて
くようです。

夜半過ぎワイワイと騒ぎました
が、翌朝は早くから目が覚めてし
まい、白々と明けそめる窓一杯に
名古屋城の雄姿が黒々と聳え、旭
日を受けて黄金色に輝きうつるさ
さまに、じいしつと見とれており
ました。

朝食を終り、名古屋城の開門を
待つて入城、快晴の日曜日に加え、
名古屋祭りと、優勝をかけた中日
を入つた右側、陸上帆船跡地の、
近藤翁記念碑と、亡き友が合祀さ
れている慰靈碑に相対して建てら
れた、百周年記念館で、朝熊の峯
を迎錦ヶ浦を望みながら語り合
うことを約して、お互いの健康を
祈りつつ別れを惜しみました。

(松本記)

来年は関西在住者担当、梅村・
飯山両君幹事として適当な時期に
行うことになりました。

(斎藤記)

翌二十五日は松田・梅村・飯山
・飯山両君幹事として適当な時期に
行うことになりました。

(斎藤記)

鳥羽商船ふな会(二十七年)

在校の 学生諸君に要望

福永芳雄

(T 4 N)

会員報告

(斎藤記)

又乗船中で出席出来なかつた菅原
君も本年、御令嬢が嫁いだ木下君
尾崎君が浜松カントリーに出発、
残りは適時浜松を観光解散しま
した。

当日出席者は左の諸君です。
梅村伸雄・松田武二・志藤篤・
飯山嘉昭・宇田川友也・木下巽・
斎藤隆・田中広行・田中健介・大
下倉怜三・千々波天信・長沢秀樹
三富定・森尾巖・林濤根
前記しましたように、来年も是
非多数参加されることをお願い
します。

木下・田中広・千々波・長沢・森

尾崎君が浜松カントリーに出発、
残りは適時浜松を観光解散しま
した。

当日出席者は左の諸君です。
梅村伸雄・松田武二・志藤篤・
飯山嘉昭・宇田川友也・木下巽・
斎藤隆・田中広行・田中健介・大
下倉怜三・千々波天信・長沢秀樹
三富定・森尾巖・林濤根
前記しましたように、来年も是
非多数参加されることをお願い
します。

木下・田中広・千々波・長沢・森

ひそかにそれぞれの英語の学力をテスツしており、自分もそのひとりであったことが判明した次第です。

日本人船長をテスツした人はかの有名なアメリカ海軍ニーミツツ提督（当時海軍少将にて軍港の司令官）でした。私は毎航アメリカの何所かの港においてニーミツツ提督とお会いして会長やゴルフを親しんでおりました。ニーミツツ提督は間もなく大将に進級され、やがて太平洋戦争時には練合船隊の司令長官となられた方です。

この事実をNHK名古屋支局が探知し、去る五十六年十一月二日百周年の祝賀会の際に母校の校長思えば私は大正のはじめに母校に入学しました。

学中に大正より昭和に改まり、母校は町立より県立に移行した直後であります。

先般百周年記念の祝賀会に出席したとき、校内隅なく見学したところ自分達が学んだ七十余年前に比べて非常に整備されており、また今との差があることを感じると共に今の学生諸君は恵まれすぎておるという印象を得ました。

先般の百周年の記念行事が見事に実行なされたことは同窓会を中心とする関係者の御努力の賜であり私は衷心より敬意を表する次第です。

(同窓会顧問、富士シッピングKK
顧問他 役員多数)

『同窓会前支部長としての思い出』

関口展生

(S7-N)

私が名鉄に入社した当時は昭和三十七年で水中翼船も本格的に就航した時代で伊勢三河の海は観光船としても一段と脚光を浴びて来たものでした。そうした中で母校の同窓会が毎年六月に母校で開かれると云うことを聞き是非行きたいと思っていたところ管理組合にいた三浦君が一度水中翼船で行つてみたらと云ふ事で岡田商船にいた中村君なども誘つて一諸に行つた事がまだ昨日の事のように思ひ出されます。

それからホバークラフトも同航路に就航して一段と大きく広がつて海のレジャーも花やかな時代でした。

同窓会にしばく出てまいりましたがその都度建物や敷地なども大きくなっています。

母校の創立一〇〇年も後五年目にはやつて来るという昭和四十九年委員会が設置されたと記憶しております。

当時参議院議員であった和田春生君が後援会の会長になって募金目標二億円ということで募金活動が始められたのですが仲々思うよ

うには集らず心配致しましたがようくしたもので創基一〇〇周年の行事を行なう時には目標額にほぼ達成出来たと云うことは誠にお目出度い事だと思って居ります。

式典当日は百年記念小誌にも詳しく出ておりますがこゝで当時の再現をしてみませう。

近藤真琴先生の写真が中央に飾られ両側の金屏風それに紅白の幕が会場にはえて多くの来賓、同窓会員、職員学生など集り厳しくなり行なわれた。

(同窓会顧問)

『百年史に学ぶ』

浦田楠雄

(S9-N)

創基百周年記念行事から早や一年がたちます。いま一度百周年の重みをかみしめてみたいものと母校百年史をひもといてみました。

私は鳥羽商船を卒業して東洋汽船に入社し船には幾らも乗らず昭和十六年海員学校に在勤を命ぜられ宮古海員学校に勤務しました。

大戦中は宮古にそして二十一年高浜海員学校に移り二十四年二級に叙されました。

その後再度宮古に移り昭和三十七年に大臣表彰を受け三十七年の秋に辞職しておりますので海員養成には二十一年のキャリアがありますが、今ではすべて過去の思い出として残って居ります。

在学中に五十周年の記念日を迎えて今年度百周年の記念日を迎えられることは小生の思い出に残った大きな行事でしりました。

祝賀会には一同が会して盛大であります。が中でも九十一才になられてもお元気な森船長が印象に残っております。彼は非常に熱血漢で第一次大戦の時やアフリカ航路を開拓された時などの話は彼の

ります。

尚この席で珍らしい方々にお会い出来て本当に有難とう御座居ました。

した。

(同窓会顧問)

で、先生こそ、「信」の一字を実践されたのだと知りました。

母にとつて近藤真琴先生は、当てになる子でした。四才のとき父をうけ、その膝下で漢籍の素読をさす。晩年、この母を追憶し「真琴の今日あるは母の教えるるあらんばいづくんぞよくここに至らんや」と述懐しています。

師にとつて近藤真琴先生は、当てになる門人でした。大村益太郎に師事してオランダ兵学を学んだ先生は、その推せんで海軍操練所に出仕し見事師の期待に応えています。

藩主にとつて近藤真琴先生は、安政五年藩主長明は従来の蘭学方の職に加えて、世子侍読の任を命じた。激動する時世にあたって漢学・蘭学に嗣子の将来を託すのが最適であると、確信したからにほかありません。

藩主長明は従来の蘭学方の職に加えて、世子侍読の任を命じた。激動する時世にあたって漢学・蘭学に嗣子の将来を託すのが最適であると、確信したからにほかありません。

せん。明治元年には、藩議長に任命され用人格に任用されています。

これに対し、藩議長はお受けしたが用人格の席は固辞しました。恭

俟な先生のお人ががらがしのばれます。

塾生にとつて近藤真琴先生は、

当てになる師でした。文久三年航

海術志願者のために私塾を開く。

当初は蘭語の指導でしたが、塾生

の求めに応じて数学・航海術を合

せて教授する。また、英語の有用

不可欠であるのを知ると、すぐそ

この度近藤真琴の人と業績を読ん

の修得に志し、僅か一年余りで、みずから英語の教授を始めている。恐らく実態は師と塾生との共同学習であつたのであらうが、塾生の求めるものを与えようとする真摯さに傾倒したに違いない。そして、幕府が倒れ、人心の動搖の激しい江戸にあって、先生は一人塾を支え航海測量術を教えつけた。

福沢諭吉が彰義隊の戦いのなか慶應義塾で塾生に学業を授けていたことは世に知られているが、先生も諭吉同様であつたことは本校につらなる一人として忘れないでおきたい。

後年、攻玉塾の塾生の一人は、五十七星霜、先生の英姿はなお僕等の眼底に滅しない。これは、畢竟先生をお割れしてより風雨ここに至誠と、門下生を愛する至情とに基因するものと信ずる、と述懐している。いま一人は「風を背に北へ」という簡にして要を得た颶風の中心を指示する歌は先生の作であるとして、当時を懷しんでいる。

本校の創基も、先生の熱情が、渡辺素餐を動かし県令岩村定高を動かし、そして鳥羽町有志を動かして、実現へとみちびいたのである。このように、人間近藤真琴先生を私どもの前に浮き彫りにして下さった百年史編集の大事業に対して、心からの謝意と敬意を捧げる次第であります。

(同窓会副会長)

『卒業後の体験』

浅野和昭

(S19N)

昭和十九年卒業であるから学校を出てから既に四十月近くにもなる。現在の仕事は専門学をほとんど必要としない。最近は時代が変り、船関係以外の職場に就職する人が多いと聞く。

そこで卒業後の体験から一つ。とくに専門学校というものは学生時代普通学を軽視しがちであるが、普通学はどこの社会でも基礎になるものであるから軽く見ないで勉強しておいてほしい。

私は現在は記事を書くような仕事をばかりしている経験からである。昨年母校の百周年に参加しての感想としては、私たちが学んだのは戦時中であり、しかも高専に昇格した現在とはあらゆることが余りにも違い過ぎて比較しようにも無理があるようと思われる。

しかし、鳥羽における寄宿舎生活を経験し、同じ金のめしをたべたことを思い出す。

母校の百五十周年のときは生きていよいという心理も働いたせいか、卒業生の少ない割には卒業生の協力が強かつたことがあげられる。募金目標二億円をほぼ達成し、心からの謝意と敬意を捧げる予字通り諸行事が達成されたのはやはり母校を想う我が同窓生の総意の賜物と思われた。

他の同窓生の間では、とても鳥

羽のまねはできないと言う声を聞く。そこで同窓会活動への要望として云えることは、母校百周年の記念事業は終つたので当面同窓会とて云ふことは、母校百周年の記念事業は終つたので当面同窓会としての大きな目標がなくなつてしまつた感が強い。最近の傾向として同窓会の支部総会よりクラス会への出席者がふえているという感覚をうける。

さて同窓会会費千五百円では低すぎのではないか。一千円か二千五百円に改訂したらどうだろうか。役員も年々若返りをはかつて行くとか、会報は年二回出すとか本部総会を地方の支部の総会とだき合せに開くとか、今後同窓会を維持して行くためにはいろいろ知恵を出し工夫をこらして行く必要があるように思われる。

(船員保険会調査課長)

『青春の夢』

島田昭三

(S21N)

突然、同窓会報への投稿を依頼され戸惑つた。確かに鳥羽商船学校を昭和二十一年三月航海科席上修3者であり、同窓会費も一応納入している(常に遅延して、督促をうけている不良会員ではある)が、会員としては全く名を連ねているだけの私だけに思いもよらないことであった。せつかくのご指

名があるのでペンを握ってみたが、折あしく大阪市会開会中のため時間的余裕がなく、たゞ、ご指示い

たいた内容が「卒業後の体験」という材題であつたので、思いつくままに卒業当時の記憶を辿つてみた。

大変な苦労であったであろう立派な百年史(関係者ご一同様に心からお礼申し上げます。)を頂き、先づ自分の年代編を一読、懐しいといおうか、言葉では表現できない自分の青春を振り返つてみたものだ。百年の歳月の中の私の在籍期間はほんの一駒であつたと

はいえ、最も特徴のある体験をしました。母校の苦節百年を改めて認識するとともに、今目的にみて、その卒業事の就職がいかに人の一生を左右するものかと万感こもるものである。

在学中の大半は減私奉公、海軍予備練習生としての教育を何一つ疑うことなく学んだものだが、敗戦で学校は大搖れ、一時休校の上での復学、そして席上修了後の練習船日本丸による満洲移民の引揚げ航海、米軍貸与のL、S、Tによる汽船実習等々、戦中戦後と世は一転した。変わなかつたのは海の男としての海外雄飛、母校の校歌、寮歌と歌詞そのものを地に行く気概の青春の夢ではなかつた。

戦中の船員教育は陸上勤務者に

これという役立つ知識も与えてくれなかつたのも事実である。やむなく一念発起、近畿大学法医学部の嘲けのように胸に厳しく響いたものだった。

戦中の船員教育は陸上勤務者に生活でどうしてもつているのか」とかけて頃く心配の言葉も私には當時は先輩航海士かやの「小役人生活でどうしてもつているのか」あつた。ソロバンの練習もした。

ところが、卒業と同時に社会の躍進するのもある寮生活、練習船生活で鍛えられた身心のお陰と思つてしまつたものだ。

しかししながら、鳥羽商船学校が与えてくれた人間育成の教育は、今もつて私の性格の基盤であり、健康でなんとか社会の一員として躍進するのもある寮生活、練習船生活で鍛えられた身心のお陰と思えば歴史ある母校に感謝せずにはおられない。

大阪港在住の先輩勤務の会社を足を棒にして訪問、結果は自分の母校小学校の代用教員であった。世は戦後の混乱時代だったから仕方なかったとはいえ、余りにも哀れなういうべき門出であった。世は戦前の夢が捨てきれず、一年後に先輩のお陰で大阪市港湾局に就職した時は、一步でも海に近づけると心を弾ませて教員を廃業して田舎を飛び出した。小学校の子供には大変親しまれ、代用教員も楽しい職ではあつたが、やはり私は大変な辛苦であったであろう立派な百年史(関係者ご一同様に心からお礼申し上げます。)を頂き、先づ自分の年代編を一読、懐いといおうか、言葉では表現できない自分の青春を振り返つてみたものだ。百年の歳月の中の私の在籍期間はほんの一駒であつたと

はいえ、最も特徴のある体験をしました。母校の苦節百年を改めて認識するとともに、今目的にみて、その卒業事の就職がいかに人の一生を左右するものかと万感こもるものである。

在学中の大半は減私奉公、海軍予備練習生としての教育を何一つ疑うことなく学んだものだが、敗戦で学校は大搖れ、一時休校の上での復学、そして席上修了後の練習船日本丸による満洲移民の引揚げ航海、米軍貸与のL、S、Tによる汽船実習等々、戦中戦後と世は一転した。変わなかつたのは海の男としての海外雄飛、母校の校歌、寮歌と歌詞そのものを地に行く気概の青春の夢ではなかつた。

戦中の船員教育は陸上勤務者にこれという役立つ知識も与えてくれなかつたのも事実である。やむなく一念発起、近畿大学法医学部の嘲けのように胸に厳しく響いたものだった。

戦中の船員教育は陸上勤務者に生活でどうしてもつしているのか」とかけて頃く心配の言葉も私には當時は先輩航海士かやの「小役人生活でどうしてもつしているのか」あつた。ソロバンの練習もした。

ところが、卒業と同時に社会の躍進するのもある寮生活、練習船生活で鍛えられた人間育成の教育は、今もつて私の性格の基盤であり、健康でなんとか社会の一員として躍進するのもある寮生活、練習船生活で鍛えられた身心のお陰と思えば歴史ある母校に感謝せずにはおられない。

海への憧れ、青春の夢はいまなお私の心の内深く燃えている。潮

気の抜けた私だが、母校百年をけい機として、若き日の友と語り、青春を再び自分のものにしたい気持で一杯である。

先輩、そして同窓の皆さん、こ

れを機会にご厚情の程をお願いし

ます。本年から同窓会大阪市部の幹事の末席を汚すことになったのも、今までの怠慢な不良同窓会員

を更正さす手段とも受取つていま

す。これが青春時代と現代を結ぶ一文となることを期待してペンを

おきます。(大阪市環境事業局長)

長い航海

竹内宗助

(S 26 N)

私が経験した最も長い航路は昭和五十一年六月中旬より全五十二年一月下旬に紅海航路の貨物船山形丸(一〇、〇四九総屯)で七ヶ月余の航海で、船長になつた第二船目、四十五才のときでした。

当時産油国であるサウジアラビアはオイル・ドラーで膨大な物資を輸入していたので、ジエッダ港まで周辺国との港も例外ではなかつたので、本船もイエメンのホーディダ港で一〇〇日以上の待船となりました。

ホーディダにたどり着いた七月は既に狂氣の暑さになつておらず、さ

らに八月になると船内のどこかで自然発火が発生するのではないかと思われるほどの暑さでした。手持ちの水も次第に底をつきかけて

くる。生鮮食料が不足してくる。おまけに冷房の調子が悪い。船の冷房というのは暑くなるときかず、涼しい時になるとやたらによくくという全く不愉快な機器です。

甲板部の者にも作業を控えさせ、

汗をかかないようにして節水に努めました。次いで機器整備もなくなると愈々辛い辛い待船生活が始まります。

仕事をしないで漫然と過ごすこと

がいかに苦痛であるかということ

を知つているのは刑務所の服役者達の様です。定役を科せられない禁固刑は懲役刑より楽な様に思えますが、実際はかえつて苦痛らしく、何らかの労働を申し出るといふことです。

じりじりと灼ける様な暑しさは世界中から集まつた船をいたぶります。どの船もひつそりとして人影は見えません。それでも当直の板手は眞面目に見張りをしており、「キャブテン、あの船には若い女の子が二人乗つています」と報告してくれます。

一〇〇隻以上の船が皆うんざりした様にだらりと錨鎖をのばしています。遠くにひろがる砂漠の海浜、時々サンンドストームがある。

太陽が東に上り、じりじりと鉄の船を灼きやがて西へ沈んでゆきました。

毎日判で押した様な單調な生活

でときどきアブノーマルな船が現われます。VHFを入れると女の

こわ色を使つたワイツクな発声を放送している者がある。飽きもせ

ず、夜も昼も。

かの試練に耐えなければなりませんでした。

(一) 短艇操練中、某甲板手がボート・ダビットに指をはさまれて

三本の指を潰したこと。

(二) 七十才を過ぎた船医が老衰し、陸上の病院に入院するや一日も

もたず死亡。

三本の指を潰したこと。

(三) 銛泊中の本船に中国人乗組みの便宜置籍船が接触して右船に

損傷をうけたこと。

(四) やつと看岸の日が来て、揚荷をし、待望の出帆を果しジェックタ港に向か船行中、快眼の翌朝、に「キャブテン船艤の中に密航者を発見しました」との報告により、反転して再びホーディダ港に向かわねばならなかつたこと。

ただこの様な事件の続出の中で、本船の航海士達は皆冷静、沈着で私をよく補佐してくれました。小野嘉久一航士は「キャブテン、あとやつてないのは火災ぐらいのものですね」という余裕ぶりで私たのもしく思つたものです。

一〇〇隻以上の船が皆うんざりした様にだらりと錨鎖をのばして

います。物の道理として組織が大きくなれば、血管が枯れて行く

よう、生き生きとした細胞を保つには、お互いに顔を見識つた範

囲、行き来き出来る範囲の気安い

は、同窓会とは楽しい集りの場な

のだと云うイメージを保つ事だと

思います。物の道理として組織が

大きくなければ、血管が枯れて行く

よう、生き生きとした細胞を保

つには、お互いに顔を見識つた範

囲、行き来き出来る範囲の気安い

同窓として、それ故、或る時は

学生の悩みに耳を傾け、或る時は

実社会を伝え、未来の指針を誤まらせぬよう親身な相談に乗る機会

を多くする環境作りを醸し出す事

です。

その事を成し得るだけの力を今

度の百周年記念事業で実証されま

した。募金一つをとっても、二億

円の淨財が集り、近代的な一億二

千万円の記念館が同窓の設計で建

ちました。

若し出来れば、残りの資金で、

今後優秀な人材がござつて本学を

希い、又、育まれるような同窓会

奨学金制度を設ければ淨財の永く

後世に伝えられる生きた道が拓かれ、同窓の善意が活きて来ると思

います。

それでは何をすれば良いのか色

光沢を放つておきました。

(NYK船長、現在豊橋市総合ホ

ートサービス株式会社専務取締役として出向中)

同窓会への夢と希望

千々波天信

(S 27 E)

同窓会即敬老会などと、へらす

口をたいて小生意氣など白い眼

で見られぬ年となり、自分の少く

なつた髪と自毛頭を鏡に落し乍ら、

生き生きとした同窓会の将来を夢

見てをります。白書夢と申します

ようか。

まず、盛大な同窓会を続けるに

に向かわねばならなかつたこと。

ただこの様な事件の続出の中で、

本船の航海士達は皆冷静、沈着で

私をよく補佐してくれました。小

野嘉久一航士は「キャブテン、あ

とやつてないのは火災ぐらいのも

のですね」という余裕ぶりで私も

しててくれます。

一〇〇隻以上の船が皆うんざり

した様にだらりと錨鎖をのばして

いる。遠くにひろがる砂漠の海浜、

時々サンンドストームがある。

太陽が東に上り、じりじりと鉄

の船を灼きやがて西へ沈んでゆく

ました。

毎日判で押した様な單調な生活

でときどきアブノーマルな船が現

われます。VHFを入れると女の

こわ色を使つたワイツクな発声を放送している者がある。飽きもせ

ず、夜も昼も。

色のことが考えられます。優秀な大成する人材を育てる環境を作るのは援ける事が同窓の願いではないでしょうか。兎も私共の子供に、私共の夢を托する思いを、今母校でかつて私共と同じように青春を謳歌している学生に先輩として又同窓として、私共の夢を更に大きく拓げるよう。優秀な人が輩出するようにするには、学生本当に考えれば良いのではありませんか。単純に何が為になります。何が為にはらぬか学生にとってプラスになるかマイナスになるか判断すれば良いと思います。一般社会の風潮のように、学生不在の教育学生不在の就職、このような事を起して貰い度ありませんし、あつてはならぬと思います。

同窓会とは楽しい集りの場な

のだと云うイメージを保つ事だと

思います。物の道理として組織が

大きくなければ、血管が枯れて行く

よう、生き生きとした細胞を保つには、お互いに顔を見識つた範

囲、行き来き出来る範囲の気安い

同窓として、それ故、或る時は

学生の悩みに耳を傾け、或る時は

実社会を伝え、未来の指針を誤まらせぬよう親身な相談に乗る機会

を多くする環境作りを醸し出す事

です。

その事を成し得るだけの力を今

度の百周年記念事業で実証されま

した。募金一つをとっても、二億

円の淨財が集り、近代的な一億二

千万円の記念館が同窓の設計で建

ちました。

若し出来れば、残りの資金で、

今後優秀な人材がござつて本学を

希い、又、育まれるような同窓会

奨学金制度を設ければ淨財の永く

後世に伝えられる生きた道が拓かれ、同窓の善意が活きて来ると思

います。

それでは何をすれば良いのか色

機会を多く、学生の見識を拡め、色々な分野で活躍している人達の知識を吸収するのが望しいのではないでしょうか。

錦ヶ浦の風光明美な母校で、俗世のからみをとり、相応しい人々

が教育に情熱を傾け、実社会に真摯な姿の单立ちに手を差しのべる

環境作りを同窓会はなすべきではないでしょうか。

同窓会は常に空であつて、生臭いものは浄化する自制作用の働く

体質であつて欲しいと思います。晩秋の感傷的な一丈の夢と終らぬよう祈っております。

（株式会社ホクシン産業代表）

『ゆらゆら一れ』

八木 隆太

(S 54 N)

私は卒業以来三年間、「外船乗り」としてビルマ・韓国・中国・フィリピン・ホンコンといった東南アジア船員と共に、海上勤務をしております。

これまでの既成概念として、「東南アジアのあんな連中に何ができる。何やらしても日本人の半分しかできない。まして彼らと働いたり暮らしたりなんていう事は……」という考えが常識的な意見として大路を闊歩している様に感じます。

実際、私の三年間というささやかな経験からしても、天測のできな二航士、ペニキをグイグイ飲んでしまうセーラー、ヒューズの取替えすらできないエンジニア等、

よっぽど念を押して話さなければ信していただけない様な日々の連續です。何度も人命にかかるアシデントにも見舞われ、「昨年は半年ほどの入院生活を送りました。

しかし、退院後も外船乗りから足を洗う気になれなかつたのです。ここでは人命の危険を伴うリスクが大きい代償として、自分の力で仕事を進めていくという張り合いも格別のものがあります。

私はたまく日本船に乗り組む機会が得られました。カリブ海定期航路に従事する在来雑貨船でした。乗組員は日本人ばかり三十名、平均年齢四五才。仕事の方は熟練された人ばかりで、一応どこおりなく作業は進行していくのですが、良きにつけ悪しきにつけて「従来の貫行通り」というのが私どもの様な若僧にとってはいいようのない壁の様なものを感じました。

その会社への入社も勧められたのですが、私の様に東京から鳥羽へジア船員と共に、海上勤務をしておりました。

慣行の中でジッとしてはいられない壁の様なものをを感じました。

その船は十万トン級の鉱石専用船でキイマンとして日本人一〇名、クリューはビルマ人二〇名という多大な編成で、日本・豪州・欧洲・カナダ東岸・日本という長期航海に出ました。

しかし、外船と日本船の慣習の差、日本人とビルマ人の生活習慣のちがい等から、キイマンである

日本人同志の間で和が崩れてしまつたのです。つまり責任のななりつけ合いの様なものです。このトラブルにビルマクリューがうまくつけ込み、仕事のボイコットをはじめたりで、カナダ・日本の六十日間ノンストップの航海は毎日が神経戦でした。

はかなくも今の日本人船員が世界という舞台に出るには技量不足なのです。教育もあり技術もあり協調性もあり、しかも過去から未

來に至るまでリーダーシップをとりつづけていくであろう日本人に

唯一欠如している点があると思うのです。

それは日本人以外の視野から仕事なり人間なりを勉強していくことなど思うのです。日本人的主觀から仕事をしたり人間関係を作つていてこうとすると、世界にあるほとんどの事象を否定的に見なければなりません。これではリーダー

シップどころか共存もおぼつかなくなってしまうと考えるのです。

真近な例として、今回私の乗つた船の場合、船長はじめ皆さんが

う五十過ぎて数年たちましたが、この不況で経営に失敗し、土地を離れて転居することになりました。

高齢者の転職は御承知の様に思うに任せぬ壁につき当たり、父のみでなく家族の誰もが疲れ果ててしましました。今までの収入より何割も格下げされるということは、父のプライドが許さなかつた様です。

そして私の父のことですが、もう五十年过去了が、もう

日本船において過去優秀な働きをされていた。日本船ならばチーフや船長のバックに必ずといっていいほど会社の後押しもある訳で、終身

連日に及ぶ話し合いの中、それが雇用制であるがゆえに、船長、チーフという職務ある個人に従うと

いうのではなく、時に何千マイル

した。

それは、「他人様を見れば良い所ばかりが目につく。しかし自分と

ところが外船では、乗組員が主

に一年契約で乗り組んできますから、オーナー会社と深い関係はないから今だに復起できない人がいるのは何故だろう。人それぞれ理由もあるろうが、自分の様に今までと大きくなります。ゆえに上司に対する外面はよくても実際の仕事の大変さでひどい離反行為に出る者も多

くいます。

こうしていきつくるところ、「これからは、今までとはちがつた価値観を持つて仕事なり人生なりに向かわなければならないぞ」と自らは、今までとはちがつた価値観を持つて仕事なり人生なりに向かわなければならぬぞ」と自らは、今までとはちがつた価値観を持つて仕事なり人生なりに向かわなければならぬぞ」と自己なりに考える様になりました。

私ならば、終身雇用体制にこだわることなく、また、日本というローカルにとどまることなく、どの様な交換にも自分の判断で生きていきたいと思うのです。さもなければ、いくら「航海」を積み重ねても、最後に残つたものがたつた一つの「後悔」ということではやりきません。

そして私の父のことですが、もう

一ヵ月に及ぶ話し合いの中、それ

赤尾陽彦船長

(S 28 N)

に中国より招待状

十二月三日付の読売新聞に、「海の友情ありがとう」と大きな見出しで、赤尾陽彦船長らの中国貨物船救助の活躍ぶりとこれに対する中国遠洋公司からの感謝の模様が掲載されましたので、会員の皆様にもお知らせいたします。

去る十月七日台風二十一号による荒天により、九州日南市沖合の日向灘で転覆した中国貨物船「西江号」(四、五二〇トン)の遭難に際して、付近航行中のM〇の貨物船「ぶれりめん丸」(一〇、四三一トン長尾卓治船長)からの無線連絡を受けた「ブリメラピーク号」(一一、八一六トン赤尾陽彦

叙 動



船長)は直ちに救助活動に入り、一時間半に亘る救助作業により、漂流中の乗組員十六名中船長他二名を除く十三名を無事救助した行動に対し、中国政府は在日中国大使館員をM.O.本社に派遣して両船对中国遠洋輸公司がテレックスで信義に厚い中国はそれだけではも足りないと、十一月三十一日、中国招待を申し込んできたという

赤尾船長と同社の幹部二名の計三名が七日に招待を受けて渡中する予定とのことです、「海の友情」を通じ日中両国のかけ橋の役割を果した赤尾船長らは「当然のこと」といふもするんですが……と照れ気味とか、しかしこのような報導記事を見るうれしさはまた格別という私の印象です。(落合記)

この秋の叙勲で田畠秋一会員(S 6N)が勳五等瑞宝章を受位されました。おめでとうございます。

(中村本部理事記)

方があるかも知れませんが、御存知の方は本部までお知らせ下さい。

神戸海運局長表彰(永年勤続)
石井敏一(八馬汽船船長・S 18卒)
稗方康之(乾汽船船長・S 19卒)
水谷助次(大源海運営業部長・S 19E卒)
関東海運局長表彰(船員永年勤続)
沢崎貞夫(ジャパンライン・S 23E卒)

●第十七回全国商船高専漕艇大会

は、十月二十三日(土)と二十四

日(日)の両日、大島商船高専で開催されました。ヨットが二位

ドボールが出場しましたが、惜し

くも一回戦で敗退しました。

●第進学説明会

九月九日(木)、例年どおり三

重県下中学校の進学指導担当の先

生をお招きして、進学説明会を行

いました。本年は五十三校が出席

しましたが、一般説明・質疑応

答・校内案内が行われました。

また、本校から担当教官が中

学校に出向くP・R活動は、十月四

日(火)十二月三日にかけ、東北・浜

海事功労者の表彰

学校便り

昭和五十七年七月(五十七年十
一月)

八日まで神戸中央競技場で開催さ
れるので同窓の応援を願います。

松・豊橋・大阪・和歌山・名古屋
神戸方面に集中的に行っています。
こうして関係者一同、受験生の増
大を計っていますが、本校のみな
らず大学・高専五校の応募者数は
足ぶみ状態のようです。

◎新任教官

航海学科助手として瀬能教官が、
十月一日就任されました。瀬能教
官は、昭和五十三年九月本校を卒
業(高専七期生)され、三光汽船
に入社、四年間の海上勤務の後、
派遣教官として出向されました。

茨城県土浦の出身ですが、若い航
海士の気概が学生に大いに反映
することを期待しています。

◎退任教官

日本郵船から航海学科教官とし
て出向してみえた田中三郎教官は、
九月三十日、三年半の任期を終え
海上復帰されました。学生指導は
無論のこと同窓会事務局でもたい
へん貢献していただきましたが、
今後の御活躍を祈っております。

◎卒業式

日本郵船から航海学科教官とし
て出向してみえた田中三郎教官は、
九月三十日(木)に第二体育館で、
来賓・父兄・教職員及び在校生等
多数参列のもとに厳粛に行われま
した。

本年度の卒業生(高専十一期生)
は、航海学科二十四名、機関学科
三十三名の計五十七名ですが、優
秀賞・皆勤賞・精勤賞・日本船
員奨学会長賞・全日本船舶職員協会
賞・富岡賞・日本航海学会優賞・
成山堂賞・航海訓練所優等生賞を
多数受賞した優秀な卒業生です。

式終了後、恒例の卒業祝賀パ

表彰式は、七月二十日の第四十二
回「海の記念日」に各地で行われ
ました。

多数の海事関係者の中から、左
記の同窓生の方々が表彰されま
した。

◎体育大会

●第二十回東海地区国立高専体育
大会は、七月十日(土)～七月十
一日(日)の二日間、競技種別に
に沼津・豊田・岐阜・鈴鹿・本校
の五ヶ所で開催されました。日頃
の猛練習にも拘らず、本年の成績
も極めて不本意なもので、団体の
部は軟式庭球一位・空手道(形の
部)一位・(総合の部)二位・ハ
ンドボール一位。個人の部は、空
手道(形の部)でE2B清水宏一
が二位・柔道(中量級)でE3B
花木勉が一位・E2B久木野正が
二位という結果にとどまりました。

●第十七回全国高専体育大会は、
八月九日(月)～八月十一日(水)
にかけ仙台電波工高専で開催され、
先の東海地区大会で優勝したハン
ドボールが出場しましたが、惜し
くも一回戦で敗退しました。

◎進学説明会

第十一回卒業証書授与式は、九
月三十日(木)に第二体育館で、
来賓・父兄・教職員及び在校生等
多数参列のもとに厳粛に行われま
した。

本年度の卒業生(高専十一期生)
は、航海学科二十四名、機関学科
三十三名の計五十七名ですが、優
秀賞・皆勤賞・精勤賞・日本船
員奨学会長賞・全日本船舶職員協会
賞・富岡賞・日本航海学会優賞・
成山堂賞・航海訓練所優等生賞を
多数受賞した優秀な卒業生です。

式終了後、恒例の卒業祝賀パ

ティが、新装になつた第一体育馆において盛大に行われましたが、喜びの顔の中にも実社会に巣立つ緊張感が漂つていました。本年もほとんどの卒業生が海上就職希望ですが、採用条件を甲一国家試験取得とする船会社が多くなつたようです。

◎海学祭

第十七回海学祭は、例年より二週間遅い十一月十四日、開催されました。今年は学生会が主体となり、恒例の実験室公開を大幅縮少し、「国連展」や九鬼水軍太鼓保存会・松阪大学フォーラムソング同好会を招いてのコンサートを企画するなど従来のマンネリ打破に学生も苦慮したようです。秋晴れの下、多数の父兄・一般客でにぎわつた一日でした。

◎見学者の来校

●八月十六日(月)、アラブ海運大学機関科教官(講師)AGA M.Y.氏が来校されました。同氏は、わが国政府ベースの国際技術協力計画に基づき、機関科実習に関する研修を行う目的で八月三日から九月九日まで滞在され、東京・長崎間の海運関係機関で実習中来校され、約二時間にわたり見学していました。

●八月二十日(金)、奈良県北東部の添上郡月ヶ瀬村立小・中学校のPTA役員並びに教職員の一行約五〇名が、生徒の進路指導の研究のため来校され、本校の施設・設備の見学、生徒の指導や進路について約一時間半にわたり研修していました。

●十一月十二日(金)、エジプト国・アレキサン드리ア海運学校理事I.B.R.A.H.I.M.氏外一名が、わが国海運関係者との懇談及び施設

●八月二十七日(金)、中国大連航運学校航海専業部の一年生七十八名と教官八名の一行が、実習船「育才丸」(七五〇〇GT)で名古屋港に寄港時来校されました。

本校では歓迎しセブーションを催した後、約二時間にわたり一般説明と校内見学を実施しましたが、学生は深い感銘を受け今後の学習に大いに役立つと共に日中友好親善がなされたようです。

なお、同校では三年間の航運学

校存学中に二回航海実習を行なうそうです。

●十月二日(土)、攻玉者中学校第三学年の生徒二〇九他引卒教官数名が、関西方面への修学旅行の途次来校され、近藤翁慰靈碑の参拝に引き続き校内全体を見学していただきました。

●十一月十日(水)コロンボ計画による国際協力事業団主催の第十二回船員教育行政研修を研修中のM.Y.氏が来校されました。同氏は、わが国政府ベースの国際技術協力計画に基づき、機関科実習に関する研修を行なう目的で八月三日から九月九日まで滞在され、東京・長崎間の海運関係機関で実習中来校され、約二時間にわたり見学していました。

●十一月十日(水)コロンボ計画による国際協力事業団主催の第十二回船員教育行政研修を研修中のM.Y.氏が来校されました。同氏は、わが国政府ベースの国際技術協力計画に基づき、機関科実習に関する研修を行なう目的で八月三日から九月九日まで滞在され、東京・長崎間の海運関係機関で実習中来校され、約二時間にわたり見学していました。

●十一月十二日(金)、エジプト国・アレキサン드리ア海運学校理事I.B.R.A.H.I.M.氏外一名が、わが国海運関係者との懇談及び施設

等の見学の目的をもつて十一月八日から一週間にわたり書日中、本校に立ち寄られ、学校施設全般を

(中村本部理事記)

特別報告

「ダイオール」社長 大槻 彰会員(S21E)の活躍振りと 学位(博士号)受位

去る九月二十二日の日刊新聞ゲンダイの「社長の私生活」という特集記事に、本会員大槻彰会員が大きく取り上げられていることに気づかれた会員も多いことと思われます。

全国八百五十店の加盟店をネットする自然療法の医薬品メーカー「ダイオール」の社長として、実業界のニューリーダーとしてのほ

日本薬局局長を卒業されたという変

時慶應大学附属病院で薬局研究生となられたのち佐藤製薬に入社され、持前のファイトとアイディアにより三十七才で取締役企画宣伝

の可愛いトレード・キャラクター、「サトちゃん」は大槻会員が子供

に最も人気のあるゾウにヒントを得て考案されたものです。トン

トン拍子で出世街道を、進中の大槻

会員は突然として重症の推間板ヘルニアに見舞われ、三年間の入院

で経営

上の「日本薬業史」の執筆に取組まれておられ、まさに七面八方の活躍振りといえます。

「ダイオール」の五十七年度の売

上目標は二十五億円が見込まれていますが、目下ライフルとし

ての「日本薬業史」の執筆に取組

まれておられ、まさに七面八方の活躍振りといえます。

去る五月かねてからアメリカの

パシフィック・ウエスタン大学に提出されていた学位論文「日本における薬業経営組織論」

の会長のほか、「アユルヴェーダ研

究会」、「日本医学史会」、「日本薬史学会」、「日本商品学会」の

としても第一級の実績をあげられ

いることはまさに超人というほ

容にひどく感銘を受けられ、その

後は自内を始めとする関係者の引

う次第です。

(落合記)

き止めを振り切つて東大病院を退院、自宅において独自の自然療法に打ち込み、その甲斐あつて今日の大槻会員が甦ったのです。以後自個の体験を基にした自然療法の普及に専念され、「ダイオール」の基礎をかためらされたのです。

「ダイオール」の社名は、大槻会員がホテルオークラのロビーで偶然にノーベル賞学者江崎玲於奈博士を見かけられ、なにげなく会釈されたところ博士のていねいな返礼されたのに感謝されて江崎博士の

世界的発明「エサキ・ダイオール」の一部を利用させてもらおうと考えられ、「ダイオール」が誕生したのです。

「ダイオール」の社長として、実業界のニューリーダーとしてのほんのあこがれを打ちくだかれ、故郷舞鶴中学(旧制)に復帰され、同志社大学予科、鴨沂高校を経て明治薬科大学を卒業されたという変つた経歴の持主です。卒業後は一時慶應大学附属病院で薬局研究生となりました。その後、佐藤製薬に入社され、持前のファイトとアイディアにより三十七才で取締役企画宣伝部長に就任されています。「ゾウ」の可愛いトレード・キャラクター、「サトちゃん」は大槻会員が子供に最も人気のあるゾウにヒントを得て考案されたものです。トン

トン拍子で出世街道を、進中の大槻会員は突然として重症の推間板ヘルニアに見舞われ、三年間の入院で経営上の「日本薬業史」の執筆に取組まれておられ、まさに七面八方の活躍振りといえます。

去る五月かねてからアメリカのパシフィック・ウエスタン大学に提出されていた学位論文「日本における薬業経営組織論」

の会長のほか、「アユルヴェーダ研

究会」、「日本医学史会」、「日本薬史学会」、「日本商品学会」の

としても第一級の実績をあげられ

いることはまさに超人というほどにひどく感銘を受けられ、その後は自内を始めとする関係者の引

う次第です。

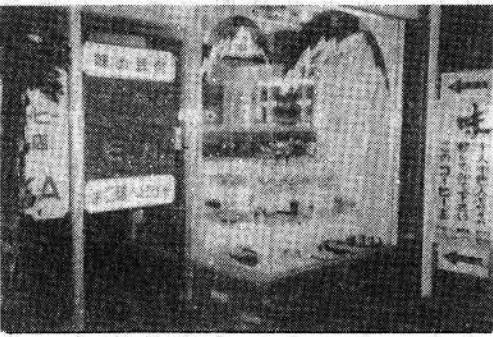
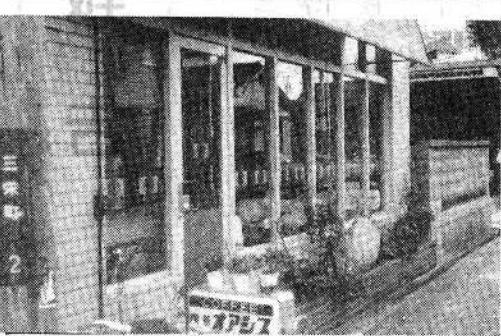
(落合記)



同窓会活動がさかんになるにつれ、会員のいこいの“場”すなわち「かたぶり」サロンなるものを設けてはという意見が高まつてきました。先号でもお知らせいたしましたように大阪支部がその先べんをつげ、梅田近くに「びおら」という割烹を「かたぶり」サロンとして開設いたしました。そこで各支部でもこうした意見を尊重し、関係者と協議のうえ、名古屋支部は金山橋の喫茶の「アサヒ」—垣内進会員（S 19 → 12 E）経営、四日市支部は駅前通りの喫茶・軽食「オアシス」—上村賢治会員（S 19 → 12 E）のお嬢さんが経営、伊勢志摩支部は伊勢市宇治山田駅前明倫マーケット内の喫茶「モカ」が経営、神戸支部は神戸の中山手通り一丁目のスタンド「櫻」が選ばれました。

今後各サロンには会員名簿、会報、連絡ノート「かたぶり」—仮称等をおき、会員の動静を確めたいと思います。京浜地区は大きいので横浜と東京の二ヶ所、また、函館、関門にも開設をお願いしたいと考えています。

かたぶり サロンの開設

大阪 割烹 び お ら  <p>ドージマ地下センターの“赤ちゃんのびおら”食通のあなたにもご満足頂けるお酒處！</p> <p>大阪市北区堂島1丁目堂島地下街4号 TEL 06-345-2015</p>	伊勢志摩 紳士、淑女の憩いの場 喫茶 モカ  <p>伊勢市宇治山田駅前明倫マーケット</p> <p>文化会館 明倫マーケット 駅前広場 モカ 歩道橋</p>
四日市 都会の憩いの場 喫茶、軽食 オアシス  <p>四日市市三栄町宝ビル1階 TEL (0593) 51-2206</p> <p>近鉄四日市駅 中央通 農協ビル 三栄町 ガソリンスタンド オアシス</p>	名古屋 休憩、商談、デートに 喫茶、軽食 アサヒ  <p>名古屋市熱田区波高町24-7(名鉄金山橋駅前) TEL (052) 881-9760</p> <p>タクシー乗場 名鉄金山橋駅</p>

古妻紙業株
高浦木材株
進興電気工業株
古妻秀夫

百周年記念資料館竣工記念の同
窓会名簿発行につきましては左記
の方に御協力いただきました。

厚く御礼申し上げます。

大松山ロッヂ 8-N 小島明正
株久保商店 11-N 久保士朗平
パール志摩 16-N 佐藤静雄
民宿まつや 17-N 中田豊治
サンライトミシン株 18-N 城山孝夫
賞月堂 19-N 中西 劍
ビューエ株 19-N 高浦義一
石田商事株 19-N 小泉 博

ジャパン警備保障株 21-N 長谷川好道
豊田ダンボール工業株 22-N 加藤喜作
山泉商店 22-N 山尾博一
株匠都市建築事務所 29-N 林 郁夫
ナカエンジニアリング 38-N 田仲徹生
喫茶ジョイ 44-N 田村 卓
名古屋メック工業株 48-N 菅沼延之
神洋産業株 48-N 菅沼延之
堀田冷蔵株 48-N 菅沼延之
喫茶モカ 48-N 菅沼延之
神洋産業株 48-N 菅沼延之
中村電機工業株 28-E 中村研一
阪神実業株 21-E 向井源一
古美術竹見 23-E 竹田純三
新大和 23-E 竹田純三
エットマスター株 31-E 山本保夫
オーデザインジパン 32-E 鈴木東英
中村電機工業株 28-E 中村研一
エットマスター株 31-E 山本保夫
ホテルときわや 33-E 尾鷲綱三
東京ゼラサビス株 36-E 石川 勤
山本電気 36-E 須永 博
松本電機工業所 50-E 松本吉生
名鳥会 10-N 市江義治
鳥羽船員保険保養所 びおら

同窓会名簿 発行賛助会員

神戸

スタンド 檻(かし)



神戸市中央区中山本通1丁目
TEL 078-331-4612



沢田ダイカスト工業株式会社

社主 沢田秀雄 (T-11-E 39期)

〒362 埼玉県北足立郡伊奈町小針内宿1315

TEL 0487-28-0230

ダイオーラは信頼の高い、
違いのある薬局・薬店づくりの
システムです。

主宰者・社長 大槻 彰 (S21E)

DAIOS ダイオーシステム研究会本部 ダイオーラ株式会社

本社 〒113 東京都文京区本郷2-27-16第一医科ビル ☎ 03-816-2457
大阪営業所 〒541 大阪市東区高麗橋1-2-1高麗橋東洋ビル ☎ 06-228-1347
福岡営業所 〒812 福岡市博多区博多駅中央街8-23博多第2SSビル ☎ 092-472-4244
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦3-6-34太陽生命名古屋ビル ☎ 052-971-1275
千葉営業所 〒285 千葉県佐倉市上志津1-7-6-9番地 ☎ 0434-61-5539
(配達センター)

日本自然療法学会・日本自然美容学会

面で活躍中の会員の体験や要望等
を積極的に採り上げたいという考
えです。今回二十五名の方に原稿
をお願いしましたところ八名の御
協力を仰ぐことができました。
会の活動を推進するうえで、こ

うした会員の皆様に関する記事は
非常に重要なと思われます。今回は
この方々にお願いしたらといろいろ
お話しをうながして原稿をお願い
しましたが、返事が頂けない方が
多くて編集上困りました。
大変お忙しい皆様にお願いす
ることは無理な話であることは充分
知つたうえでのお願いでございま
す。来号(明年七月発行予定)に
もお願いする方針で進んでおりま
す。よろしく御協力の程お願い申
し上げます。

なお各地でクラス会等も開催さ
れている様子ですが、こうした記
事もぜひ収録したいと考えます。の
で明年六月十五日頃までに本部宛
お送り下さいますようお願い申
し上げます。

お 願 い

記念資料館の完成を記念しての
新会員名簿の発行を以て、母校
の創基百周年記念に関しての一切
の業務を終りました。今後は新時
代を迎えての会の活動について皆
様方のより一層の御協力をお願ひ
しなければなりません。

今回新しい試みとして、会報に
会員報告の欄を設けました。各方
に積極的に採り上げたいという考
えです。今回二十五名の方に原稿
をお願いしましたところ八名の御
協力を仰ぐことができました。

会の活動を推進するうえで、こ
うした会員の皆様に関する記事は
非常に重要なと思われます。今回
はこの方々にお願いしたらといろいろ
お話しをうながして原稿をお願いす
ることは無理な話であることは充分
知つたうえでのお願いでございま
す。来号(明年七月発行予定)に
もお願いする方針で進んでおりま
す。よろしく御協力の程お願い申
し上げます。

派遣教官として
御挨拶

瀬能 明



昭和五十三年、航海学科を卒業し、三光汽船に奉職中でしたが、十月一日付で派遣教官として母校に赴任致しました。

派遣教官というと、豊かな海上生活の経験を持つた方が多かつた中で、卒業後僅か四年しか経っていない私が、そのような立場になろうとは夢にも思いませんでした。

航海士として、社会人として経験浅い私ですが、学生と共に勉強し、スポーツに汗を流し、今後社会人として巣立つて行く後輩に、比較的年令の近い先輩として、何等かの良いアドバイスができるべと思ております。

諸先輩方の御指導、御鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

当地に御来遊の際はぜひ御連絡下さい。

新名簿

残部

50部限り

次回は60年度まで発行しません。

御入用の方は大至急申し込み下さい。

(代金1,500円送料込は振替で)

同窓会名簿



幸田三斎、大東達明、松山孝夫
鈴木俊宏、畠山周、古田正剛、
宇田啓三郎、下村甚一郎、宮中山一
美、中村俊輔、小倉是彦、西井規
雄、城山久夫、鈴木正浩、鈴木潔

去る五月、東京タンカントに就職
されていた熊崎克己会員が八戸中
航海中に行方不明となられました。

ここに謹んで御冥福をお祈りしま
す。本部からクラスメートの岡本
教官に葬儀に参列していただきま
した。

故 熊崎克己君の死を悼む

君を慕う、ぼくら一人一人の声を
君にとどけとばかりに。

さようなら熊崎君。（八月二十一
日葬儀に参列して）

S 49 N 岡本吉範

た海に眠ることは、海の男の本懐
であろうと思うが……、次代を

担う我々同窓生が、七つの海を又

にかけ精進することこそ、唯一の

はなむけと信じ、心から惜別のこ
とばを贈る。

かねてから海を愛し、自然を敬う
君が、まさかその海において行方
不明……帰らぬ人になろうとは！

お父上様からの知らせを受けた時
は、思わず耳をうたがつてしまつ
た。時は五月といえ、北の海はさ
ぞかし冷く、波も高かつたである
う。御家族様の胸中を察するとお
なぐさめのことばも今はない。

思えば昭和四十四年、高専三期
生として入学、同じ釜の飯を食い、
卒業後は、会社こそちがえ共に初
志貫徹し、あこがれの商船士官と
しての道を歩み始めたのが昨日の
ごとく思いだされてしまうがない。
あれから八年、君は新進気鋭の二
等機関士となり、会社の君に対す
る期待も増え大なるところであつ

熊崎克己会員 行方不明

たと思う。私は信じる。用意
周到、冷静沈着はもとより勤勉、
勉学の士である君がたんに過失に
よつて死を招くはずのないことを
しかし、君はもう帰らないという
現実がここにある。あれほど愛し
た海に眠ることは、海の男の本懐
であろうと思うが……、次代を

担う我々同窓生が、七つの海を又

にかけ精進することこそ、唯一の
はなむけと信じ、心から惜別のこ
とばを贈る。

た海に眠ることは、海の男の本懐
であろうと思うが……、次代を

担う我々同窓生が、七つの海を又

にかけ精進することこそ、唯一の
はなむけと信じ、心から惜別のこ
とばを贈る。

死者

た海に眠ることは、海の男の本懐
であろうと思うが……、次代を

担う我々同窓生が、七つの海を又

にかけ精進することこそ、唯一の
はなむけと信じ、心から惜別のこ
とばを贈る。

た海に眠ることは、海の男の本懐
であろうと思うが……、次代を

担う我々同窓生が、七つの海を又

にかけ精進することこそ、唯一の
はなむけと信じ、心から惜別のこ
とばを贈る。

発 行 所

三重県鳥羽市池上町1の1
鳥羽商船高等専門学校内
鳥羽商船同窓会
〒517 電話(0599) 25-3137
製 作 (有) 大正堂 印 刷 所